

第 3 回草津市総合計画特別委員会における 主な意見とその対応について

○は委員会での意見・対応
→は委員会後の意見・対応

頁	主な意見	対応
【(1) 社会情勢の変化について】		
P8	「多彩な魅力を感じられるまち」について、草津市は1町5村が合併してできた経緯等がある中、駅周辺と東部と西部の記載しかないことに違和感がある。	○検討します。 →御意見のとおり、草津市は1町5村が合併してできた経緯があり、各地域に多くの魅力があります。しかしながら、当該箇所の記載は、「将来のまちの構造」のゾーンの区分と合わせて、市を中央部、東部、西部に分けて記載をしておりますので、原案のとおりとしますが、まちの拠点については、市の南部、北部の記載をしております。
P11	「人口の見通し」について、2030年から市全体の人口が減るとのことであるが、地域間での人口増減の格差の見通しはあるか。	○各学区の人口推移については、データブック 2019 に掲載しています。 →地域間の人口見通しについては、総合計画では記載しませんが、分析が必要であると考えております。
P11	「人口の見通し」について、適正な草津市の人口を検討すべき。全国的な人口減少により他の自治体からの転入を見込まないのではなく、これからも社会増を維持していくまちづくりを検討いただきたい。	○人口見通しについては、これまでからの人口増加施策を継続し、一定の社会増も続くものとして推計しております。しかしながら、全国で人口減少が進行する中、草津市においても人口減少局面が訪れることは免れないと考えております。
P15	「地域共生社会の実現に向けて」について、多様性の視点を含めた文言を追記いただきたい。	○検討します。 →多様性の視点を含めた文言を追記しました
P15	「地域共生社会の実現に向けて」について、高齢者福祉に対する記載が少ない。また、地域包括ケアシステムの注釈が高齢者に限定した記載となっているので、対象を広げた記載とすべきである。	○検討します。 →「地域共生社会の実現に向けて」について、高齢者福祉に対する記載を追記しました。また、地域包括ケアシステムの注釈を修正しました。
P15 P16	「生涯活躍できる人づくりに向けて」について、人生100年時代の中にICT教育の記載があるが、関連性が分からない。	○検討します。 →「人生100年時代」においては、生涯を通じた教育・学習が必要となります。本市では、小・中学校教育において、他自治体に先駆けてICT教育を推進しており、ICT教育は、これからの人生を歩むための基礎・基本となる「生きる力」を身につける上で重要なものであると考えておりますので、「人生100年時代」の中で記載いたします。また、御意見を踏まえ、一部修正しました。

頁	主な意見	対応
P16	「生涯活躍できる人づくりに向けて」について、大学が立地している自治体であるのに、大学に関する記載や若い世代を巻き込むことについて記載が少ない。	○基本計画において具体的な内容を記載します。
P16	「安全・安心なまちづくりに向けて」について、予測困難と記載されているが、近年の大規模な災害が多発しており予測困難と記載して片付けて良いものか。	○検討します。 → <u>国の資料を参考として、「予測困難」を「これまで経験したことの無い」に修正しました。</u>
P17	「地域コミュニティの拡充に向けて」について、各地域の特性を踏まえた記載が必要ではないか。また、中間支援組織について注釈が必要ではないか。	○検討します。 → <u>「地域ごとの課題や」を追記しました。また、中間支援組織の注釈を追記しました。</u>
P19	「SDGs（持続可能な開発目標）の推進に向けて」について、SDGsをどう政策につなげていくのか。	○分野ごとの目標とつなげられるよう検討する。
P19 P20	「SDGs（持続可能な開発目標）の推進に向けて」・「Society5.0社会に向けて」について、市民が読まれたときにわかりにくいのではないか。特に Society5.0 の注釈などはわかりにくい印象を受ける。	○検討します。 → <u>「Society5.0社会に向けて」の記載を修正しました。また、用語集の中で「SDGs」・「Society5.0」のわかりやすい説明書の記載を検討します。</u>
P19 P20	「Society5.0社会に向けて」について、自動運転や 5G など近年の状況は念頭に置かれているか。	○想定できる部分を膨らませて記載できないか検討する。 → <u>「Society5.0社会に向けて」の記載を修正しました。</u>
—	市の特徴的な課題や取組が見えてこない。	○「超高齢・人口減少社会への対応と地方創生の深化に向けて」などは、本市特有の課題も含めながら記載をしています。また、総括評価において各分野の本市の課題等を整理しております。また、分野ごとの課題等については、基本計画での記載を検討しております。
—	「必要がある」という言葉で結ばれているが、社会情勢の変化を記載しただけのものとして良いか、次へつながるものとしてとらえたらよいか。	○ここでまとめた課題等を踏まえて、今後の基本構想の後半部分や基本計画で取組の方向性を検討します。
—	基本計画の分野の中に「地域経営」の視点を組み込んでいただきたい。	○第6次総合計画では、現行の「地域経営」の視点を分野に組み込むことを検討しています。
—	地域再生の記載がなく、市街地に誘導するまちづくりを進めていくような印象を受ける。	○単に市の中心部に集めるということではありません。「持続可能な都市構造の実現に向けて」のところで、地域再生の視点を含めています。

頁	主な意見	対応
ー	交通や観光の視点はどこに記載されているのか。	○交通は「持続可能な都市構造の実現に向けて」で記載をしています。また、各分野の課題等は総括評価において整理しました。今後、各分野の取組の方向性などは、基本構想の後半部分や基本計画の中で検討します。
【(2) 将来ビジョンの検討について】		
ー	視点3の「ネットワーク性の高い…」という表現が分かりにくい。	○検討します。 →「 <u>ネットワークが充実した…</u> 」に修正しました。
ー	多様化がマイナス側面からしかとらえられておらず、多様性を前向きにとらえ将来ビジョンに入れていただきたい。	○いただいた御意見を踏まえ、将来ビジョンを検討してまいります。
ー	個別化の視点も将来ビジョンに入れていただきたい。	○いただいた御意見を踏まえ、将来ビジョンを検討してまいります。